

# 中学校教科等研修講座(数学科)

教科等指導員 伊丹市立北中学校 教諭 長谷 慎一

担当指導主事：宮崎 大樹

キーワード：小中連携 ICT活用 出前授業 わかる授業 若手教員の育成

## 1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題(またはテーマ)
2月20日(火)	伊丹市立北中学校 長谷 慎一 教諭	伊丹市立総合教育 センター 講話および演習	「活用する力を伸ばす授業の工夫」

## 2 主な内容

“活用する力を伸ばす” 授業実践交流

(1) 参加者の2、3学期の授業実践の振り返り

① 授業規律やルールの遵守について

授業の中で聞かせる時間と考えさせる、書かせる時間をはっきりさせる

② 授業展開の導入について

生徒に合わせて興味をひく導入を考える

(2) 情報交換から新たな課題についての意見交流

① 能動的な学習のしかけについて

発問の仕方を工夫して、生徒との会話のやりとりの中で自主的に学習する意欲を高める

② 年齢層を超えた者同士の交流について

(3) 次年度の取組内容について



## 3 成果と課題

(1) 成果

① 若手教員は中学校数学の指導だけでなく小学校算数や高校数学の内容にも知識を広げていく必要があることや、生徒の視点に立った指導の重要性、数学指導における語句の重要性を学ぶ機会ができた。

② 5年目の指導教員も初心を振り返る良い機会となり、授業に対する意識の向上が見られた。

③ 「若手教員による模擬授業」を行ったあとのアンケートで、若手教員の意識が高まったことは今年度も確認できた。

(2) 課題

① 「若手教員の模擬授業」についての取組は昨年度から始めたが、今後、定期的な研修の場として機能させる必要がある。

② 学んだことを各校で実践している様子を公開授業などを利用して参観し合い、さらに交流を深める必要がある。

